

太陽と地面のようす

組 番

月 日

正答数

名前

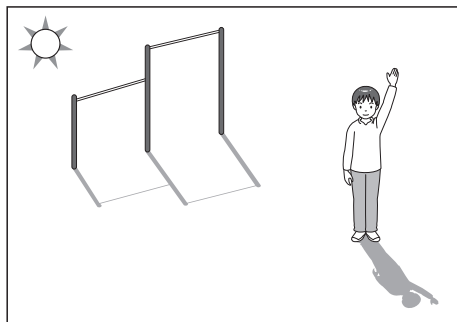
/12

めあて

- 太陽とかげの動きがわかる。
- 日なたと日かげのようすがわかる。

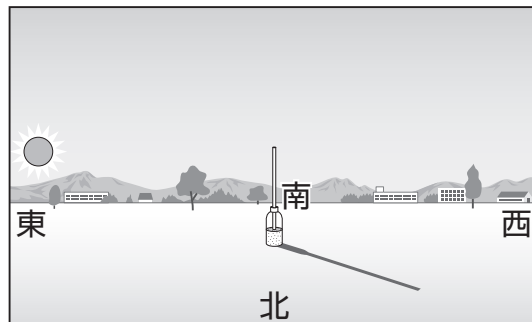
(1) 太陽の動き

太陽とかげのかんけい



- ・かげは、日光をさえぎる^{もの}があると、太陽の(①)がわにできる。

太陽とかげの動き



- ・太陽は、(②)から出て、(③)の高いところを通り、(④)にしずむ。
- ・かげは、(⑤)から(⑥)を通り、(⑦)に動く。

[西 東 南 北 反対]

(2) 日なたと日かげ

- ・太陽には、明るくてらすだけでなく、物を(①)はたらきがある。
- ・正午ごろの^{じめん}地面の方が、午前10時ごろの地面より、(②)。



日なたと日かげの地面のちがい

- ・地面の明るさ …日なたの地面の方が、日かげの地面より(③)。
- ・地面のあたたかさ…日なたの地面の方が、日かげの地面より(④)。
- ・地面のしめりけ …日なたの地面の方が、日かげの地面より(⑤)。

[あたたかい かわいている あたためる 明るい]

太陽と地面のようす

(1)① 反対 ② 東 ③ 南 ④ 西 ⑤ 西 ⑥ 北
⑦ 東

(2)① あたためる ② あたたかい ③ 明るい ④ あたたかい
⑤ かわいている

日なたと日かげの温度

組 番

月 日

正答数

名前

/ 8

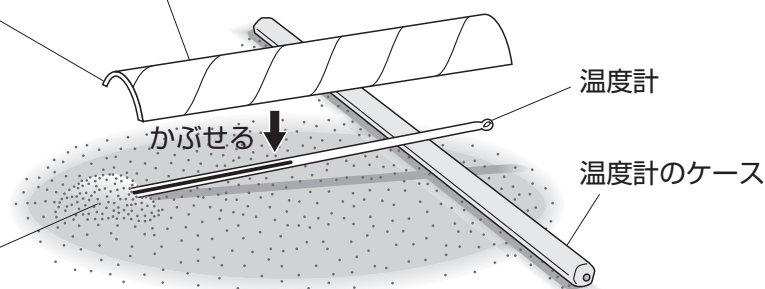
めあて

- 地面の温度のはかり方がわかる。
- 日なたと日かげの地面の温度がわかる。

(1) 地面の温度のはかり方

- ・ (①) が、温度計に (②) 当たらないように、
おいをする。

おい(あつ紙など)

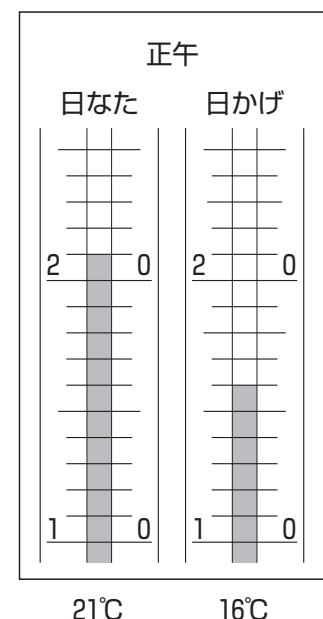
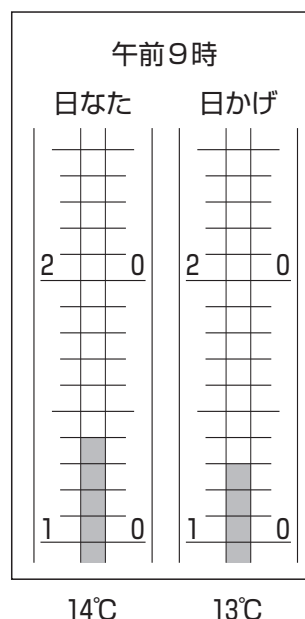


- ・ (③) に (④) をかける。

[日光 えきだめ 土 ちよくせつ]

(2) 日なたと日かげの地面の温度

- ・ 日なたの地面は (①))
であたためられるので、
日かげの地面よりも、温度が
(②) なる。
- ・ 日かげの地面はつめたくて、
(③))感じがする。
- ・ 午前9時と正午の日なたと日かげ
の地面の温度をくらべると、どち
らの温度も上がっているが、
(④))の方が、温度の
上がりぐあい大きい。



[日なた 日光 高く しめった]

日なたと日かげの温度

- (1)① 日光 ② ちよくせつ ③ えきだめ ④ 土
(2)① 日光 ② 高く ③ しめった ④ 日なた

太陽の動き

組 番

月 日

正答数

名前

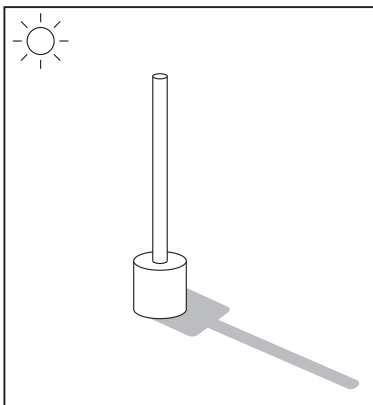
/13

めあて

- 太陽のかんさつのしかたがわかる。
- 太陽とかげの動き方がわかる。

(1) 太陽のかんさつ

太陽とかげの向き

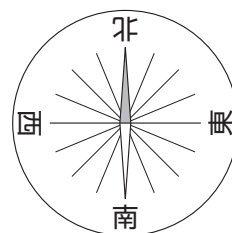


かげは、日光が物に当たったとき、太陽の(①)がわにできる。

注意 目をいためるので、かんさつするときに太陽を(②)見てはいけない。(③)を使って、かんさつする。

[北 南 反対 ちよくせつ しゃ光プレート]

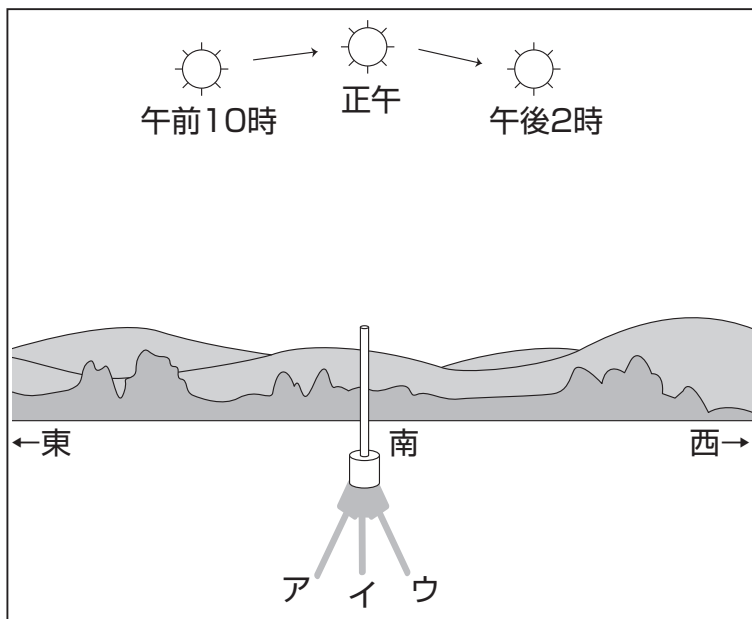
方いじしんの使い方



方いじしんのはりは、北と(④)をさして止まる。

「(⑤)」の文字と、はりの色のついた方を合わせる。

(2) 太陽とかげの動き



太陽は、(①)から出て(②)を通り、(③)にしずむ。

また、太陽が動くにつれて、かげは(④)から(⑤)へと動く。

左の図のア～ウのうち、午前10時のかげは(⑥)、正午のかげは(⑦)、午後2時のかげは(⑧)である。

[ア イ ウ 東 西 南]

太陽の動き

- (1)① 反対 ② ちよくせつ ③ しゃ光プレート ④ 南
⑤ 北
- (2)① 東 ② 南 ③ 西 ④ 西 ⑤ 東 ⑥ ウ ⑦ イ
⑧ ア